0 $s_s T_w T_w T_w$群　（略）
1 $P_{wa} P_{wa} H_{wa} H_{wa}$群
（取扱い）　（略）
（符号の内容）
1　（略）
$P_{wa} P_{wa}$　波浪の周期
注1　（略）
2　不明の場合には//とする。
$H_{wa} H_{wa}$　（略）
2 $P_w P_w H_w H_w$群
（取扱い）　（略）
（符号の内容）
2　（略）
$P_w P_w$　風浪の周期
注1　（略）
2　混とんとした海面のため不明の場合には99とし、その他の理由により不明の場合には//とする。
$H_w H_w$　（略）
3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群、4 $P_{w1} P_{w1} H_{w1} H_{w1}$群、5 $P_{w2} P_{w2} H_{w2} H_{w2}$群
（取扱い）
1、2　（略）
3　うねりが一方向のみから来ている場合の報告には、3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群の$d_{w1} d_{w1}$及び4 $P_{w1} P_{w1} H_{w1} H_{w1}$群を用い、3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群の$d_{w2} d_{w2}$は//とし、5 $P_{w2} P_{w2} H_{w2} H_{w2}$群は含めない。
4　（略）
（符号の内容）　（略）
6 $I_s E_s E_s R_s$群
（取扱い）
1　（略）
2　船舶の着氷の報告には、この群に代えて、ICINGを前置し、ローマ字つづり又は英文を用いた平文によることができる。

（符号の内容）　（略）
8 $s_w T_b T_b T_b$群　（略）
ICE　$c_i S_i b_i D_i z_i$群
（取扱い）
1　（略）

0 $s_s T_w T_w T_w$群　（略）
1 $P_{wa} P_{wa} H_{wa} H_{wa}$群
（取扱い）　（略）
（符号の内容）
1　（略）
$P_{wa} P_{wa}$　波浪の周期
注1　（略）
2　不明の場合にはンンとする。
$H_{wa} H_{wa}$　（略）
2 $P_w P_w H_w H_w$群
（取扱い）　（略）
（符号の内容）
2　（略）
$P_w P_w$　風浪の周期
注1　（略）
2　混とんとした海面のため不明の場合には99とし、その他の理由により不明の場合にはンンとする。
$H_w H_w$　（略）
3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群、4 $P_{w1} P_{w1} H_{w1} H_{w1}$群、5 $P_{w2} P_{w2} H_{w2} H_{w2}$群
（取扱い）
1、2　（略）
3　うねりが一方向のみから来ている場合の報告には、3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群の$d_{w1} d_{w1}$及び4 $P_{w1} P_{w1} H_{w1} H_{w1}$群を用い、3 $d_{w1} d_{w1} d_{w2} d_{w2}$群の$d_{w2} d_{w2}$はンンとし、5 $P_{w2} P_{w2} H_{w2} H_{w2}$群は含めない。
4　（略）
（符号の内容）　（略）
6 $I_s E_s E_s R_s$群
（取扱い）
1　（略）
2　船舶の着氷の報告には、この群に代えて、海事衛星を経由する場合はICINGを前置し、ローマ字つづり又は英文を用いた平文によることができ、海事衛星を経由しない場合はチヤクヒヨウを前置し、平文によることができる。
（符号の内容）　（略）
8 $s_w T_b T_b T_b$群　（略）
コオリ（ICE）　$c_i S_i b_i D_i z_i$群
（取扱い）
1　（略）

2　海氷の報告には、$c_i S_i b_i D_i z_i$群に代えて、ローマ字つづり又は英文を用いた平文によることもできる。

（符号の内容）
（削る）

ICE　海氷の群が続くことを示す指示文字

c_i～z_i　（略）
特殊現象記事の群
（取扱い）
1　この群は、次の場合において、その詳細をローマ字つづり又は英文を用いた平文で報告する場合に用いる。

(1)～(6)　（略）
（削る）

付表1、付表2　（略）
付表3
h　雲底の高さ
0～9　（略）
/　雲底の高さ不明
付表4　（略）
付表5
N　（略）
N_h　C_Lに属する雲の雲量、C_Lに属する雲がない場合はC_Mに属する雲の雲量
0～9　（略）
/　天気現象以外の原因により不明
付表6～付表9　（略）
付表10
C_L　層積雲、層雲、積雪及び積乱雲の状態
0～9　（略）
/　C_Lの雲が観測できない。
付表11
C_M　高積雲、高層雲及び乱層雲の状態
0～9　（略）
/　C_Mの雲が観測できない。

2　海氷の報告には、$c_i S_i b_i D_i z_i$群に代えて、平文によることもできる。この場合において、海事衛星を経由するものにあつては、ローマ字つづり又は英文を用いた平文による。
（符号の内容）
コオリ　海氷の群が続くことを示す指示文字
ICE　海事衛星を経由する船舶気象報において、コオリに代えて用いる指示文字
c_i～z_i　（略）
特殊現象記事の群
（取扱い）
1　この群は、次の場合において、その詳細を平文で報告する場合に用いる。この場合において、海事衛星を経由するものにあつては、ローマ字つづり又は英文を用いた平文による。
(1)～(6)　（略）
注1　海事衛星を経由する船舶気象報にあつては、符号ン、ンン又はンンンに代えて符号／、／／又は／／／を用いる。
付表1、付表2　（略）
付表3
h　雲底の高さ
0～9　（略）
ン　雲底の高さ不明
付表4　（略）
付表5
N　（略）
N_h　C_Lに属する雲の雲量、C_Lに属する雲がない場合はC_Mに属する雲の雲量
0～9　（略）
ン　天気現象以外の原因により不明
付表6～付表9　（略）
付表10
C_L　層積雲、層雲、積雪及び積乱雲の状態
0～9　（略）
ン　C_Lの雲が観測できない。
付表11
C_M　高積雲、高層雲及び乱層雲の状態
0～9　（略）
ン　C_Mの雲が観測できない。